

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

イマチニブ

(依頼コード No.2660)

受託開始日 2012年5月14日(月)受付分より

本年4月の診療報酬改定により、イマチニブが特定薬剤治療管理料の算定対象薬剤として新たに加わりました。

イマチニブは、フィラデルフィア染色体の遺伝子産物 BCR-ABL を標的として開発された分子標的治療薬であり、慢性骨髄性白血病 (CML)、フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病 (Ph+ALL)、KIT (CD117) 陽性消化管間質腫瘍 (GIST) 及び FIP1L1-PDGFR 陽性の好酸球増多症候群又は慢性好酸球性白血病 (HES/CEL) に対する治療薬として用いられています。

フィラデルフィア染色体では、チロシンキナーゼ活性が亢進した BCR-ABL 融合蛋白が作られ、細胞増殖のシグナル伝達に異常が起り、過剰な細胞増殖が引き起こされた結果、CML や Ph+ALL 病態が形成されます。GIST では c-kit 遺伝子が機能獲得性突然変異を起こし、KIT チロシンキナーゼ活性の異常亢進が原因のひとつと考えられています。HES/CEL では染色体の欠失で FIP1L1-PDGFR 融合遺伝子が生じ、受容体型チロシンキナーゼ活性により好酸球増多異常を呈すると考えられています。イマチニブは、これら感受性を示すチロシンキナーゼを選択的に阻害して抗腫瘍効果を発揮します。

イマチニブの血中濃度測定は、服薬コンプライアンスや併用薬による薬物相互作用の評価、高度な副作用発現及び治療効果が不十分なときの解釈に有用です。

裏面に続きます

## 受託要領

依頼コード No.	2660
検体必要量	EDTA 血漿 0.3 mL
採取容器	B・7 (5 mL用) S・1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	7 ~ 21 日
検査方法	LC・MS/MS 法
基準値	なし
単位	ng/mL
報告範囲	4 未満 ~ 最終値
報告桁数	整数
保険点数	470 点 (特定薬剤治療管理料)

### 検体提出時のご注意

- 1) トラフ値の測定を行うためには、正確な服薬時間と採血時間の管理が必要です。イマチニブの場合には、服薬後、24 時間 ± 2 時間での採血が適正とされています。
- 2) 状況により全血でもお預かりしますので担当営業員にご相談ください。

【測定法の参考文献】 Bakhtiar, R. et al.: J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci 768, 325-340, 2002.